

「佐渡の再生可能エネルギーと脱炭素を考える」

シンポジウム

佐渡島の未来を支えるエネルギーと脱炭素について考えよう

佐渡の電力事情を知ってもらい、再生可能エネルギーおよび脱炭素化に向けた取り組みを理解してもらうための市民の皆さまならびに事業所の皆さまを対象としたシンポジウムを開催します

参加費 無料
定員 100名
(要予約)

2022.12.4 (日) 13:30～15:30 【開場 13:00】

会場 あいぽーと佐渡 (〒952-0011 新潟県佐渡市両津夷 384-11)

♪当日は様々な展示や親子で楽しむワークショップもあります♪

(詳しくは裏面をご覧ください)

主催 佐渡市



/ 協力 佐渡市脱炭素推進会議

佐渡は、野生のトキが生息する豊かで美しい自然に囲まれた島です。
そして、おいしい農作物や魚介類がとれ、対馬暖流の影響で、夏は
本土よりも涼しく、冬は暖かい。住むにはとても快適な地域です。

一方で、離島であるがゆえに、現在のエネルギー供給体制につい
ては、災害面・環境面・コスト面で様々なリスクが考えられます。

市民の皆さま、事業所の皆さま、この機会に私たちの島の再生可能
エネルギーと脱炭素について一緒に考えてみませんか？



もし津波がきて、火力発電所
が機能しなくなったら？

地球温暖化など環境面を考
えると、このままでよいのかし
ら？

再生可能エネルギーと言っても、
具体的には？

私たちが大人になったとき、
どんな佐渡になっている？



プログラム

13 : 30 開会

13 : 35 講演 1 「佐渡市の現在のエネルギー事情と東北電力ネットワーク(株)のカーボンニュートラルへの取り組み」
東北電力ネットワーク株式会社 佐渡電力センター 副調査役 戸井田 洋治 氏

14 : 10 講演 2 「新潟県自然エネルギーの島構想について」【WEB 講演】
新潟県産業労働部 創業・イノベーション推進課長 川島 俊哉 氏

14 : 25 講演 3 「農業と脱炭素」 -脱炭素に向けた取り組みを生産者に還元する仕組みについて-
三井住友信託銀行株式会社 サステナビリティ推進部 主任調査役 後藤 明生 氏

14 : 45 休憩

14 : 55 講演 4 「カーボンニュートラルと企業の取り組み」
-大幅な省エネに挑戦した製造業等の事例から学ぶ中小企業がこれから始める脱炭素経営-
MS&AD インターリスク総研株式会社 リスクマネジメント第一部コンサルタント 関 椋也 氏

15 : 30 閉会

【ワークショップ】親子でつくろう！太陽光で発電 ソーラーエコハウス
-型抜きされた段ボールにペンで色付けして、ミニチュアハウスを作ります-

定員 20 名 (参加費無料、要予約)

1 回目 13 : 00~13 : 30 (10 名)

2 回目 14 : 45~15 : 15 (10 名)

その他にソーラーミニカー製作 (先着 20 名) もあります！



写真：アーテック

【展示物】

■ 太陽光発電、蓄電池展示

■ EV (電気自動車) 車両展示

■ EV バス (電動バス) パネル・プロモーション動画展示

■ FCV (燃料電池自動車) 車両展示 (ほか)



【お申し込み方法】

<WEB からお申し込み>

右の QR からお申込みください。第四北越リサーチ&コンサルティング(株)の HP から
お申込みいただけます(<https://www.dhrc.co.jp/>)



<お電話によるお申し込み>

下記の事務局宛にご連絡ください

【第四北越リサーチ&コンサルティング(株) シンポジウム事務局 TEL 025-256-8110】

※このシンポジウムは、佐渡市による「佐渡市再生可能エネルギー導入促進支援業務」の一環として、第四北越リサーチ&コンサルティング(株)が委託を受けて
運営するものです

- 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、マスクの着用をお願いいたします
- 参加者ご自身、または周囲で体調不良の方がいる場合は、参加を控えていただきますようお願いいたします
- 新型コロナウイルス感染症拡大や政府方針の変更に伴い、開催を中止する場合があります。その場合は参加予定者にご連絡いたします